

構築会兵庫支部 平成18年度総会・講演会の概要

平成18年度講演会は、55名の参加のもと9月に神戸市北野会館で総会に引き続いて開催し、近畿大学教授の江藤剛治先生から「毎秒100万コマのビデオカメラで見る世界」というテーマで講演いただきました。

江藤先生は土木工学教室 室田研究室のご出身で、もともとは流体力学がご専門ですが、自ら電子工学を学ばれて、世界最速の100万枚／秒のビデオカメラを独自の技術で開発され、高速CCDカメラ開発とその応用の分野での世界的な第一人者として、国際高速撮影会議フォトソニックス賞(2005年度)やSPIE(国際光工学会)Harold E Edgerton 賞(2006年度)など数々の受賞に輝いております。

講演では、実は流体力学と電子工学は似ていること、今まで電子工学やビデオカメラの専門家も気がつかなかった「コロンブスの卵的発想」により、世界最速撮影カメラを開発したことなどのご苦労話に(電子工学の先端技術の話はよく分からないながらも)一同感心いたしました。

また、実際の撮影映像を、読売テレビ「世界で一番受けたい授業」に先生が出演された際の映像を見ながら、風船が割れるときに表面を衝撃波が伝わりながら裂けていく様子、流体のキャビテーションの気泡がつぶれるときにジェットが発生する様子、弾丸(小型ミサイル)が衝撃波を発生させながら飛んでいく様子などを解説していただき、高速カメラ映像を使って様々な技術開発が可能であることを実感した次第です。

最後には、テレビ番組の中で男優が女優にビンタされて、ビンタの波が頬の筋肉を伝わっていく様子まで見せていただき、世界最先端の技術をご披露いただく中にも、和気藹々とした雰囲気の中に講演会が終了いたしました。

講演会後の懇親会は、社会基盤工学部門長の奈良先生、建築工学部門長の奥先生にお越しいただき、佐俣支部長も構築会会長の立場で参加、両部門長と江藤先生を囲んで和やかかつ盛大に行われました。